株式会社福岡クリーンエナジーの 経営状況を説明する書類 株式会社 福岡クリーンエナジーの経営状況を説明する書類について

地方自治法第243条の3第2項の規定により株式会社福岡クリーンエナジーの経営状況を説明する書類を提出する。

令和7年9月3日

福岡市長 髙 島 宗一郎

月 次

														^	ページ
第1	弇	介和了	7年度	事業計画	に関す	る書類	• • • • •	• • • • •	••••	• • • • •	• • • • •	• • • • •	• • • • •	• • • • •	1
	1	事	業	計	画 …	• • • • • •	• • • • •	••••	• • • • •	••••	• • • • •	• • • • •	• • • • •	• • • • •	1
	2	収	支	計	画 …	• • • • • •	• • • • •	••••	• • • • •	••••	• • • • •	• • • • •	• • • • •	• • • • •	1
第2	弇	3和 6	年度:	決算に	関する	書類・・	• • • • •	• • • • •	••••	• • • • •	• • • • •	• • • • •	• • • • •	• • • • •	2
	1	事	業	報	告 ••	• • • • • •	• • • • •	• • • • •	• • • • •	• • • • •	• • • • •	••••	• • • • • •	• • • • •	2
	2	損	益	計算	書 ••	• • • • • •	• • • • •	• • • • •	• • • • •	• • • • •	• • • • •	••••	• • • • •	• • • • •	2
	3	株主	資本等	等変動計算	章書 ••	• • • • • •	• • • • •	• • • • •	••••	• • • • •	• • • • •	• • • • •	• • • • •	• • • • •	3
	4	剰	余 金	の処	分 …	• • • • • •	• • • • •	• • • • •	• • • • •	• • • • •	• • • • •	• • • • •	• • • • •	• • • • •	3
	5	貸	借	対 照	表 …	• • • • • •	• • • • •	• • • • •	• • • • •	• • • • •	• • • • •	• • • • •	• • • • •	• • • • •	4
	6	契約	団金額が	33億円」	以上のコ	事又は	製造の	請負の)契約	• • • • •	• • • • •	• • • • •	• • • • • •	• • • • •	5
	7	契約	団金額が	34,00	0万円	以上の不	動産等	節の買,	入れ等	の契約	••••	• • • • •	• • • • •	• • • • •	5
第3	監	i 1	全 役	会 等	€ Ø	意 見	• • • • •	• • • • •	• • • • •	• • • • •	• • • • •	• • • • •	• • • • •	• • • •	6
第4	衫	L C	ļ	Į	名	簿	• • • • •		• • • • •	• • • • •	• • • • •	• • • • •	• • • • •	••••	6

第1 令和7年度事業計画に関する書類

1 事 業 計 画

東部工場の営業運転開始(平成17年8月)以降、安定した操業を継続するとともに、強固な経 営基盤と柔軟な経営体質の確立に向けた諸施策に取り組んできた。

令和7年度は、第6次中期経営計画(対象期間:令和3年度~令和7年度)の下、「安全・安定で 確実なごみ処理」や「情勢変化への適切な対応と効率的な経営の推進」等を目指した取組みを着実 に推進していく。

また、福岡市との「令和7年度 廃棄物中間処理委託契約」に基づくごみ処理計画量は178,036 t 、 ごみ発電電力量は103,794千kWhを計画している。

なお、令和7年度の経営方針は、以下のとおりとしている。

- (1) 安全・安定で確実なごみ処理を目指す。
- (2) 情勢変化への適切な対応と効率的な経営の推進を目指す。
- (3) 個性の尊重とチームワークで活力ある職場を目指す。
- (4) ごみ処理技術を通して循環型社会形成への貢献を目指す。
- (5) 市民や地域社会から信頼される企業を目指す。

2 収 支 計 画 (令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

(単位:千円、金額は消費税込み)

											(I I			4.们复仇之(^)
		収	•		入				支	:			出	
	乖	4	1		金	額		科			目		金	額
Ţ	資	金	繰	越	5	5,620,499	営		業	費	<u>;</u>	用		2,849,444
Ą	営 	業	収	入	3	3,526,126	営	業	外	費	用	他		432,459
	廃	棄物	処理委	託料	2	2,790,697		配		当		金		150,000
	売		電	料		727,650		そ		の		他		282,459
	技	流 術 支	援 委	託料		7,779								
rì E	営業	外収入	(受取	利息他)		13,514	資		金	繰	1	越		5,878,236
			†		Ç	9,160,139				H				9,160,139

第2 令和6年度決算に関する書類

1 事 業 報 告

(1) 東部工場の運転状況

福岡市との「廃棄物中間処理委託基本契約」に基づく「令和6年度 廃棄物中間処理委託契約」を令和6年4月1日に締結し、継続して安定した運転を行った。

令和6年度は、操業開始から20年目となる。令和6年度のごみ処理量の実績は166,679 t、ごみ発電電力量は102,107千kWhであり、計画値に対してそれぞれ93.1%、98.3%であった。

(2) 当期業績の概要について

売上高については、福岡市からの廃棄物中間処理委託料収入及び九州電力株式会社への売電料収入などにより、3,106,353千円となった。

売上高から売上原価2,772,975千円を差し引いた売上総利益は333,378千円、これから販売費及び一般管理費を差し引いた営業利益は109,053千円となった。

これに営業外収益を加えた経常利益は118,530千円となった。

これから、法人税、住民税及び事業税並びに法人税等調整額を差し引いた結果、当期純利益は 92,851千円となった。

2 損益計算書(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

(単位:円)

科	目	金	額
売上	高		
廃棄物中間処	理委託料収入	2,359,295,067	
売電料	収 入 等	747,058,467	3,106,353,534
売 上 原	価		2,772,975,120
売	上 総 利 益		333,378,414
販売費及び一般行	管理費		224,325,025
営	業 利 益		109,053,389
営 業 外 4	又 益		9,476,879
経	常 利 益		118,530,268
税	引前当期純利益		118,530,268
法人税、住民税及び	事業税	16,680,851	
法人税等調	整額	8,998,179	25,679,030
肃	期 純 利 益		92,851,238

3 株主資本等変動計算書(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

(単位:円)

					(十匹・13)		
	 	未 主	資	*			
		利益身	剰余金		なと Vor - マケ ハ ニ [
	資 本 金	利益準備金	その他利益 剰 余 金 繰 越 利 益 剰 余 金	株主資本合計	純資産合計		
令和6年4月1日 残 高	5,000,000,000	310,000,000	5,307,650,661	10,617,650,661	10,617,650,661		
事業年度中の変 動 額							
剰余金の配当		15,000,000	△165,000,000	△150,000,000	△150,000,000		
当期純利益			92,851,238	92,851,238	92,851,238		
事業年度中の変動額合計		15,000,000	△72,148,762	△57,148,762	△57,148,762		
令和 7年3月31日 残 高	5,000,000,000	325,000,000	5,235,501,899	10,560,501,899	10,560,501,899		

4 剰余金の処分

期末配当に関する事項

(1) 配当財産の種類

金銭

- (2) 株主に対する配当財産の割当に関する事項及びその総額
 - ① 当社普通株式1株につき 金1,500円
 - ② 配当金の総額 150,000,000円

5 貸 借 対 照 表(令和7年3月31日現在)

(単位:円)

科目	金額	科 目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	6,007,806,859	流動負債	514,920,509
現金及び預金	5,120,499,678	買 掛 金	18,161,557
売 掛 金	300,815,954	リース債務	2,874,960
貯 蔵 品	77,487,283	未 払 金	452,613,456
C M S 預 け 金	500,000,000	未 払 費 用	33,526,624
その他の流動資産	9,003,944	未払法人税等	6,824,100
固 定 資 産	5,070,519,329	預 り 金	919,812
有形固定資産	5,040,405,728	固定負債	2,903,780
建物	2,527,922,484	リース債務	2,903,780
構築物	309,523,224	負 債 合 計	517,824,289
機械及び装置	2,191,128,424	(純資産の部)	
車 両 運 搬 具	1	株 主 資 本	10,560,501,899
工具器具及び備品	7,546,195	資 本 金	5,000,000,000
リース資産	4,285,400	利 益 剰 余 金	5,560,501,899
無形固定資産	962,400	利 益 準 備 金	325,000,000
電話加入権	218,400	その他利益剰余金	5,235,501,899
リース資産	744,000	繰越利益剰余金	5,235,501,899
投資その他の資産	29,151,201		
繰 延 税 金 資 産	29,151,201	純 資 産 合 計	10,560,501,899
資 産 合 計	11,078,326,188	負債及び純資産合計	11,078,326,188

6 契約金額が3億円以上の工事又は製造の請負の契約 該当なし

7 契約金額が4,000万円以上の不動産等の買入れ等の契約 該当なし

第3 監査役会等の意見

1 会計監査人(有限責任監査法人トーマツ)の意見

計算書類及びその附属明細書が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に 準拠して、当該計算書類及びその附属明細書に係る期間の財産及び損益の状況を、全ての重要な点 において適正に表示しているものと認める。

2 監査役会の意見

- (1) 事業報告等の監査結果
 - ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認める。
 - ② 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められない。
 - ③ 内部統制システムに関する取締役会決議の内容は相当であると認める。また、当該内部統制システムに関する事業報告の記載内容及び取締役の職務の執行についても、指摘すべき事項は認められない。
 - ④ 事業報告に記載されている親会社等との取引について、当該取引をするにあたり当社の利益を害さないように留意した事項及び当該取引が当社の利益を害さないかどうかについての取締役会の判断及びその理由について、指摘すべき事項は認められない。
- (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果 会計監査人 (有限責任監査法人トーマツ) の監査の方法及び結果は相当であると認める。

第4 役 員 名 簿(令和7年8月1日現在)

役	職	名	В	E	;	名	備考
代表〕	取締役	社長	髙	田	浩	輝	(常勤)
取	締	役	松	岡	伸	明	総務部長(常勤)
取	締	役	永	沼	孝	之	技術部長(常勤)
取	締	役	藤	本	和	史	福岡市環境局長
取	締	役	Щ	畑	健	<u></u>	九州電力株式会社 常務執行役員 エネルギーサービス事業統括本部 営業本部長
取	締	役	大	貝	知	子	株式会社大貝環境計画研究所代表取締役所長
監	査	役	中	尾	嘉	宏	(常勤)
監	查	役	坂	П	孝	裕	福岡市環境局施設部長
監	査	役	中	村	直	樹	九州電力株式会社 監査等特命役員